

# 那須塩原市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査 結果報告書(概要版)

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

「第3期那須塩原市子ども・子育て未来プラン(令和7~11年度)」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の方の意見・要望を把握し、那須塩原市の新しい子育て支援策を検討するため、調査を実施しました。

### (2) 調査の対象と実施方法

- 調査対象：那須塩原市在住の就学前児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月20日～令和6年3月31日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
2,000 票	1,226 票		61.3%
	WEB	紙	
	623 票	603 票	

- 調査対象：那須塩原市在住の就学児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月20日～令和6年3月31日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
2,000 票	1,250 票		62.5%
	WEB	紙	
	656 票	594 票	

### (3) 調査報告書の見方

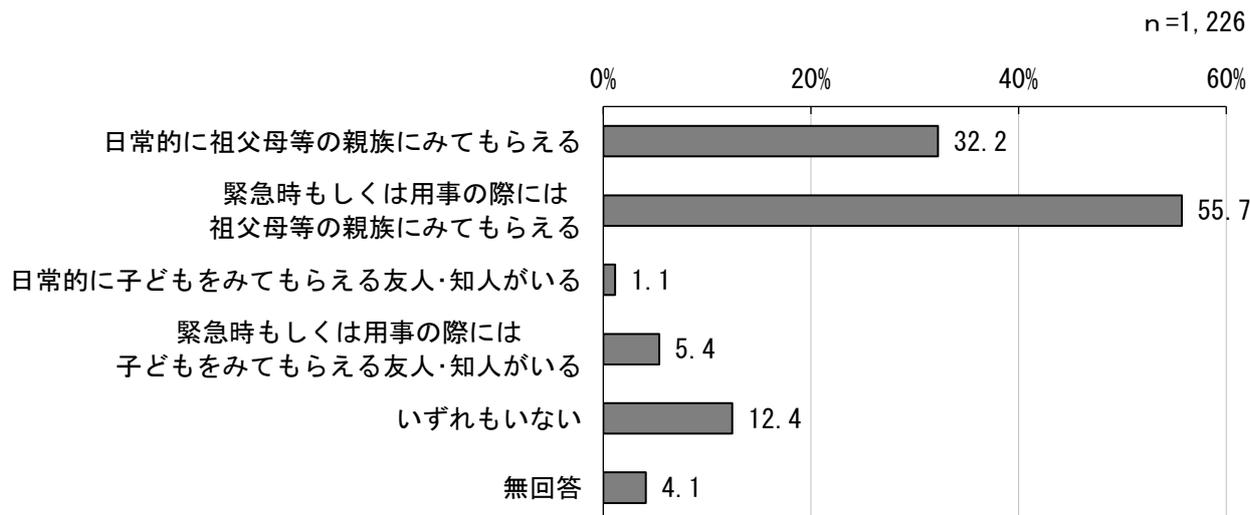
百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

## 2 調査の結果概要（就学前児童）

### （1）子どもの育ちをめぐる環境について

○お子さんをみてもらえる親族・知人

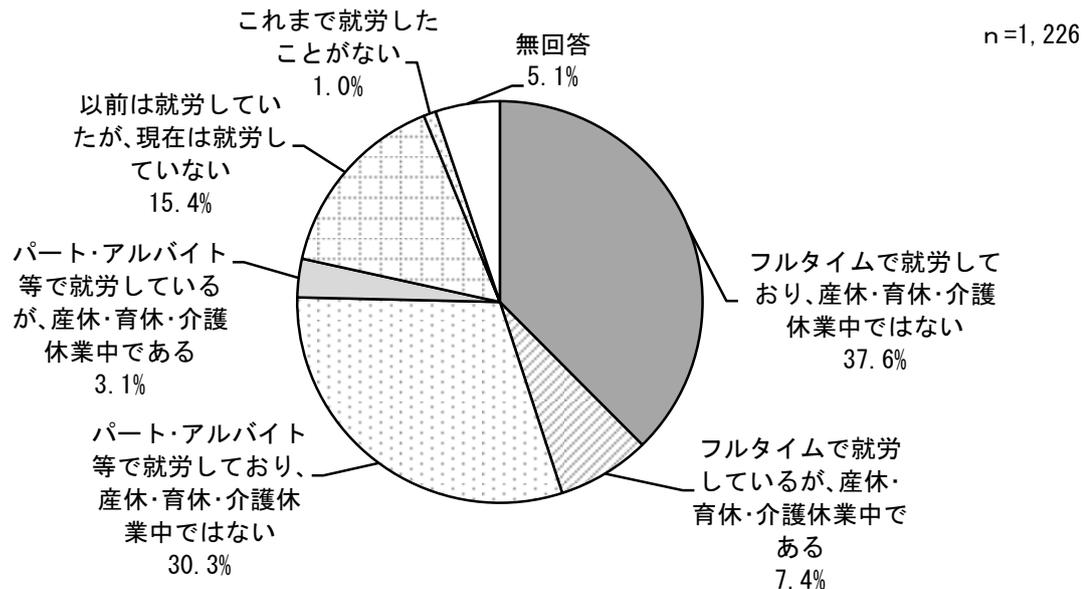
お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.2%、「いずれもない」が12.4%となっています。



## (2) 保護者の就労状況について

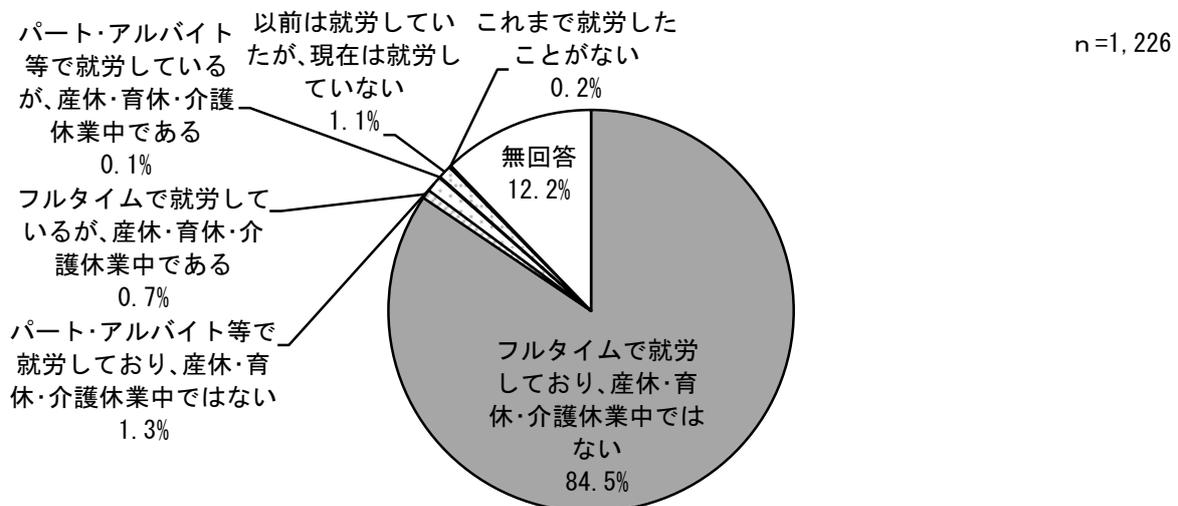
### ○母親の就労形態

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」15.4%となっています。



### ○父親の就労形態

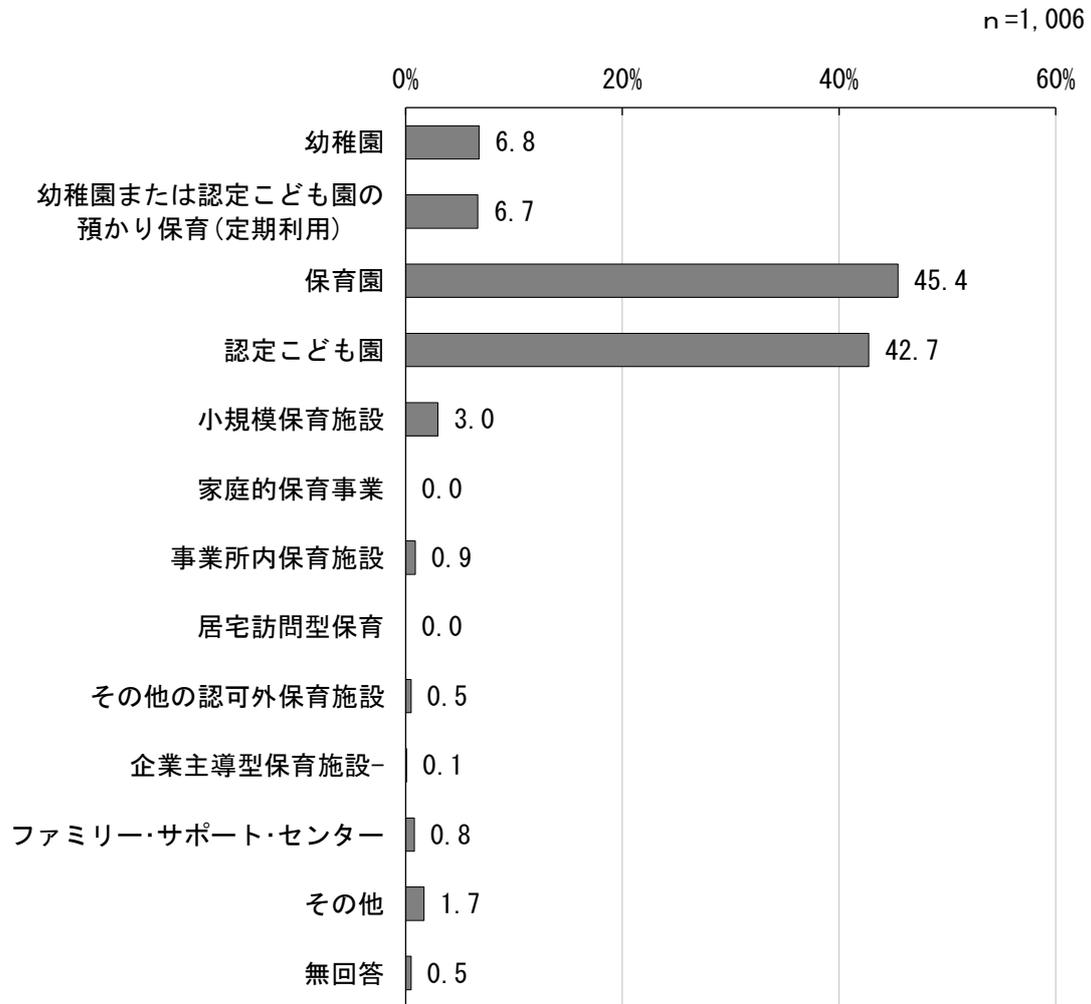
父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が84.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が1.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.1%となっています。



### (3) お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

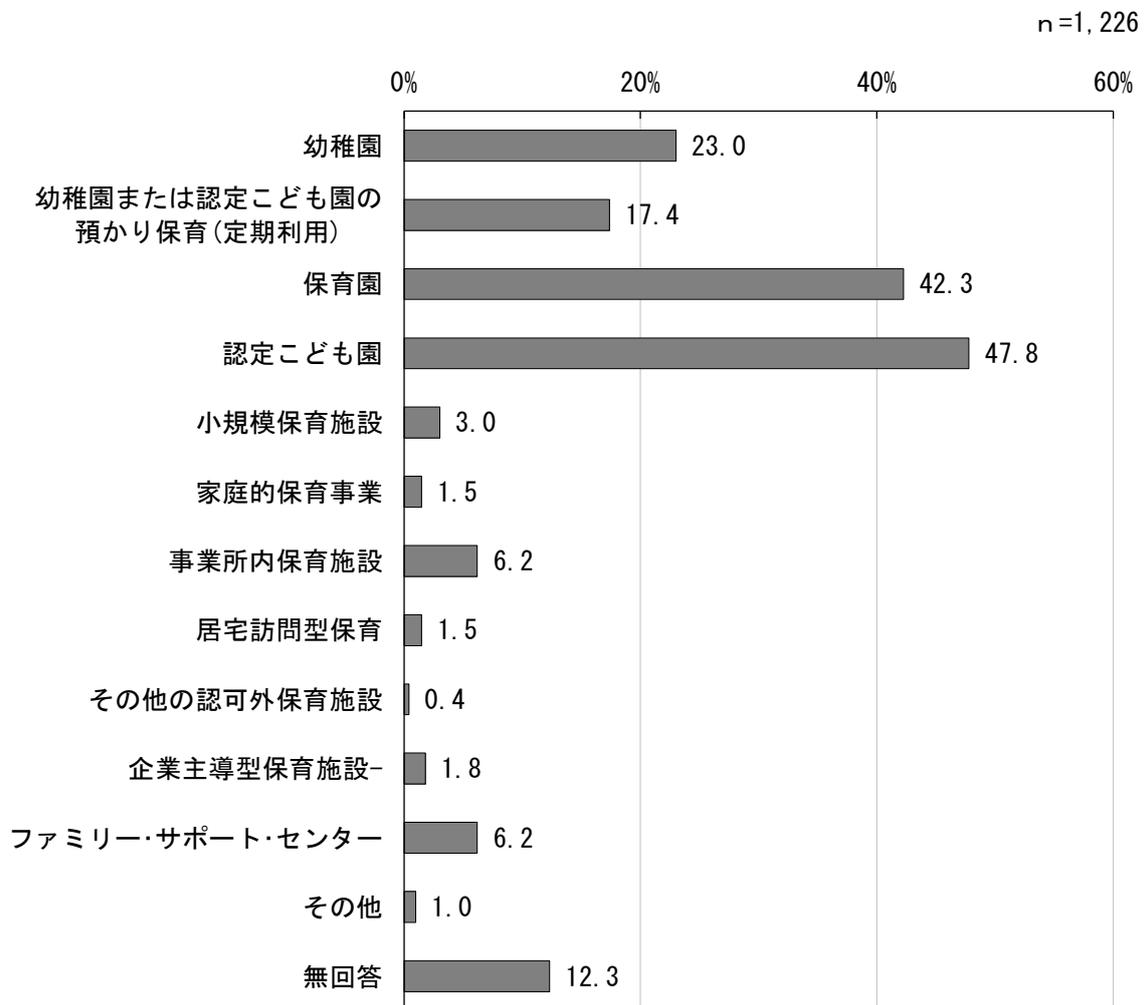
#### ○平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「保育園」が45.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が42.7%、「幼稚園」が6.8%となっています。



○定期的に利用したい教育・保育事業

定期的に利用したい教育・保育事業は、「認定こども園」が47.8%と最も高く、次いで「保育園」が42.3%、「幼稚園」が23.0%となっています。

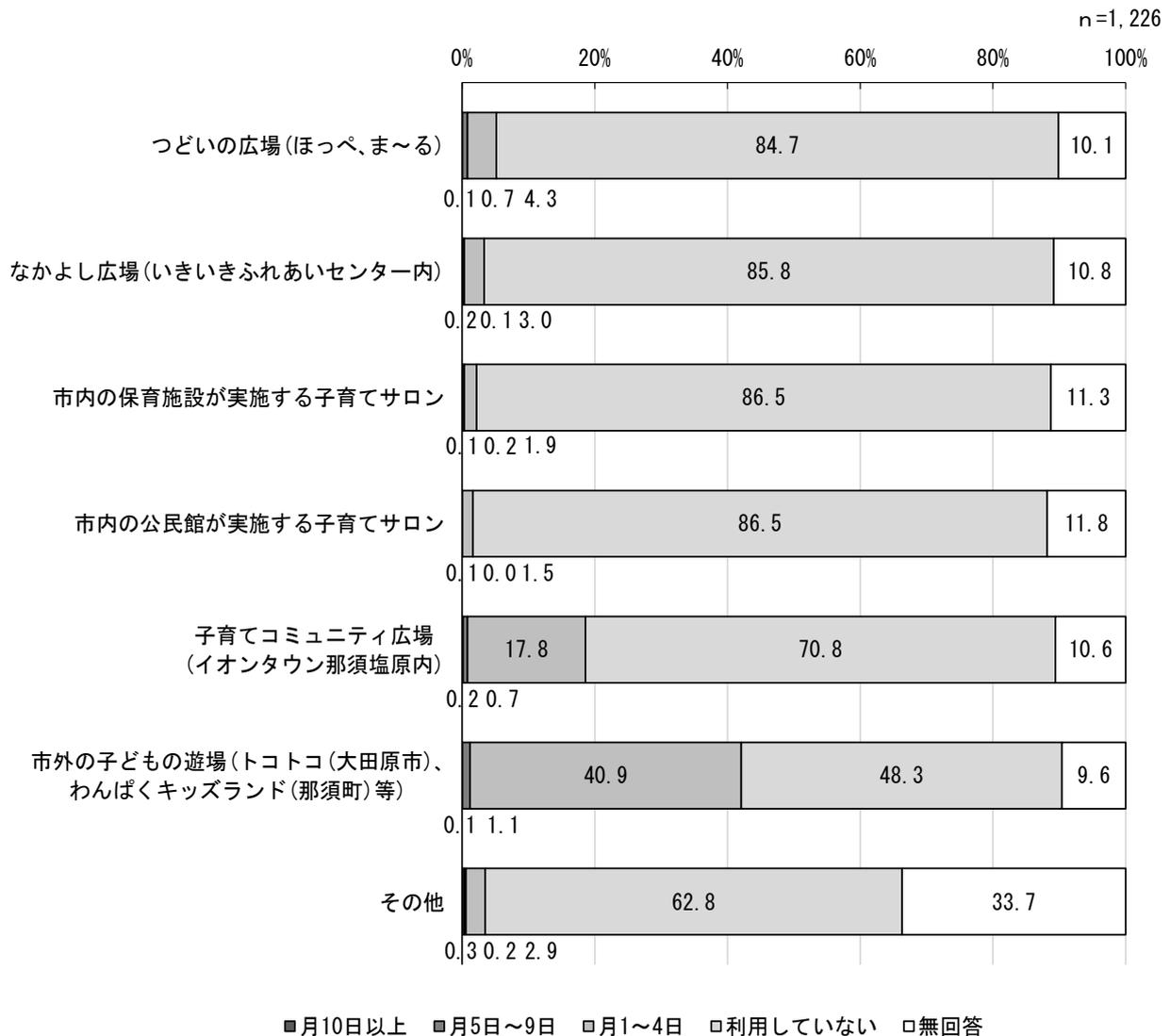


#### (4) 地域の子育て支援事業等の利用状況について

##### ○子育て支援事業の利用状況

現地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「月1～4日」としては、「市外の子どもの遊び場（トコトコ（大田原市）、わんぱくキッズランド（那須町）等）」が40.9%と最も高く、次いで「子育てコミュニティ広場（イオンタウン那須塩原内）」が17.8%、「つどいの広場（ほっぺ、ま～る）」が4.3%となっています。

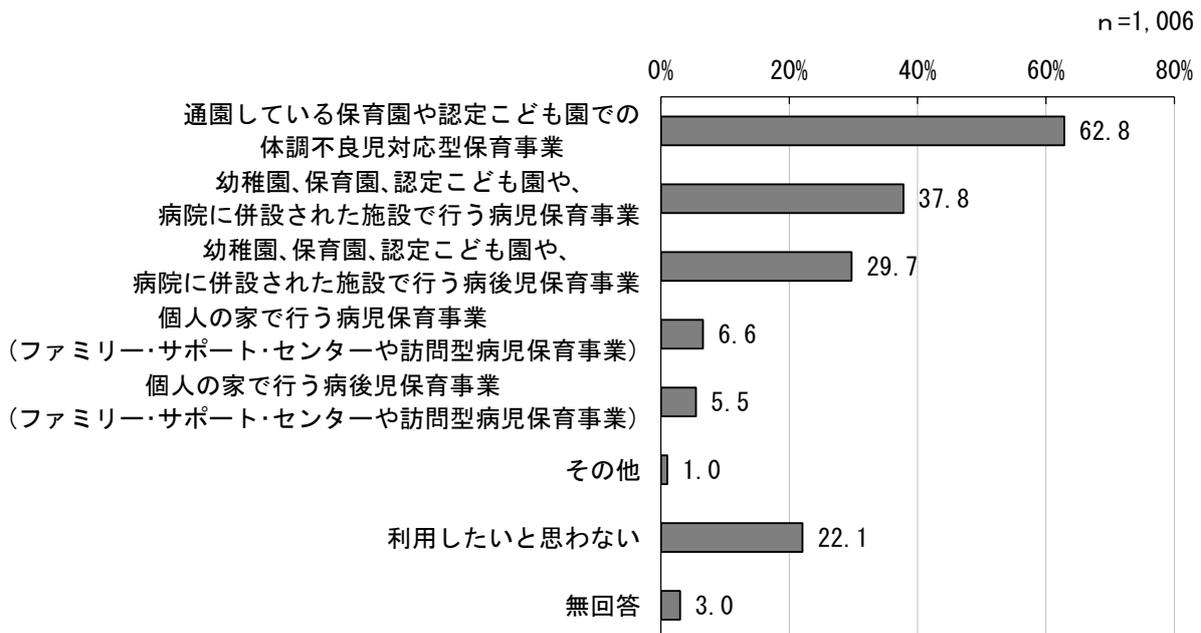
「利用していない」としては、「市内の保育施設が実施する子育てサロン」、「市内の公民館が実施する子育てサロン」がそれぞれ86.5%と最も高く、次いで「なかよし広場（いきいきふれあいセンター内）」が85.8%となっています。



## (5) 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

### ○病気の際に利用したい事業

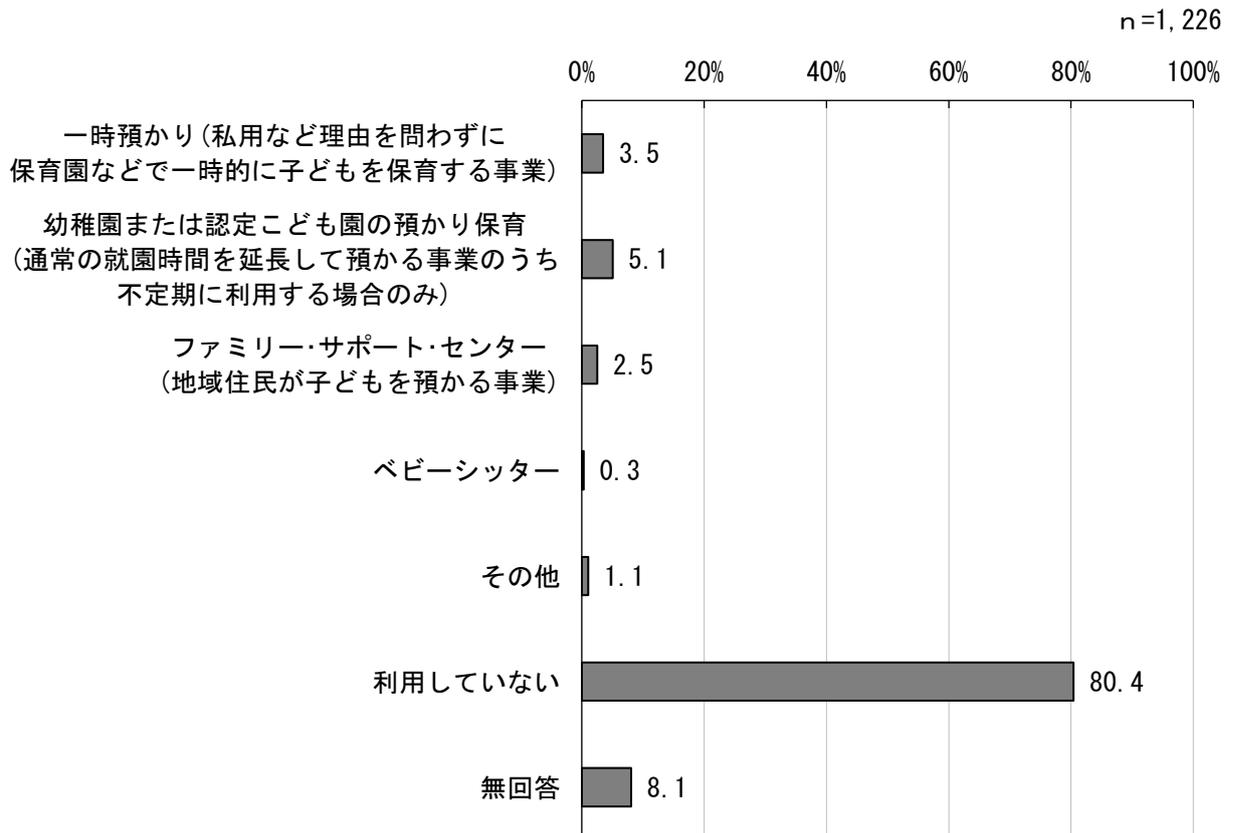
お子さんが病気の際に父母が仕事を休んで看られない場合の利用したい事業は、「通園している保育園や認定こども園での体調不良児対応型保育事業」が 62.8%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園、認定こども園や、病院に併設された施設で行う病児保育事業」が 37.8%、「幼稚園、保育園、認定こども園や、病院に併設された施設で行う病後児保育事業」が 29.7%となっています。



## (6) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴わない一時預かり等の利用について

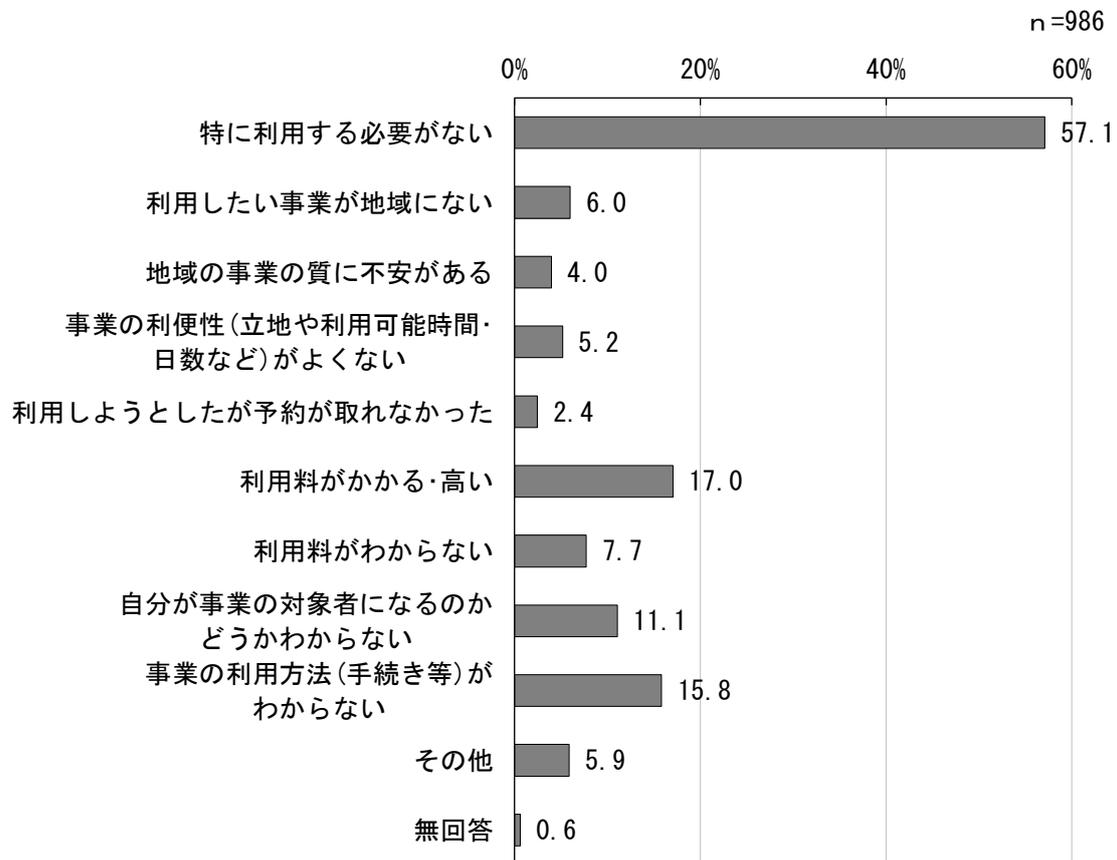
### ○不定期的に利用している事業

不定期的に利用している事業は、「利用していない」が80.4%と最も高く、次いで「幼稚園または認定こども園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ)」が5.1%、「一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)」が3.5%となっています。



○不定期に事業を利用していない理由

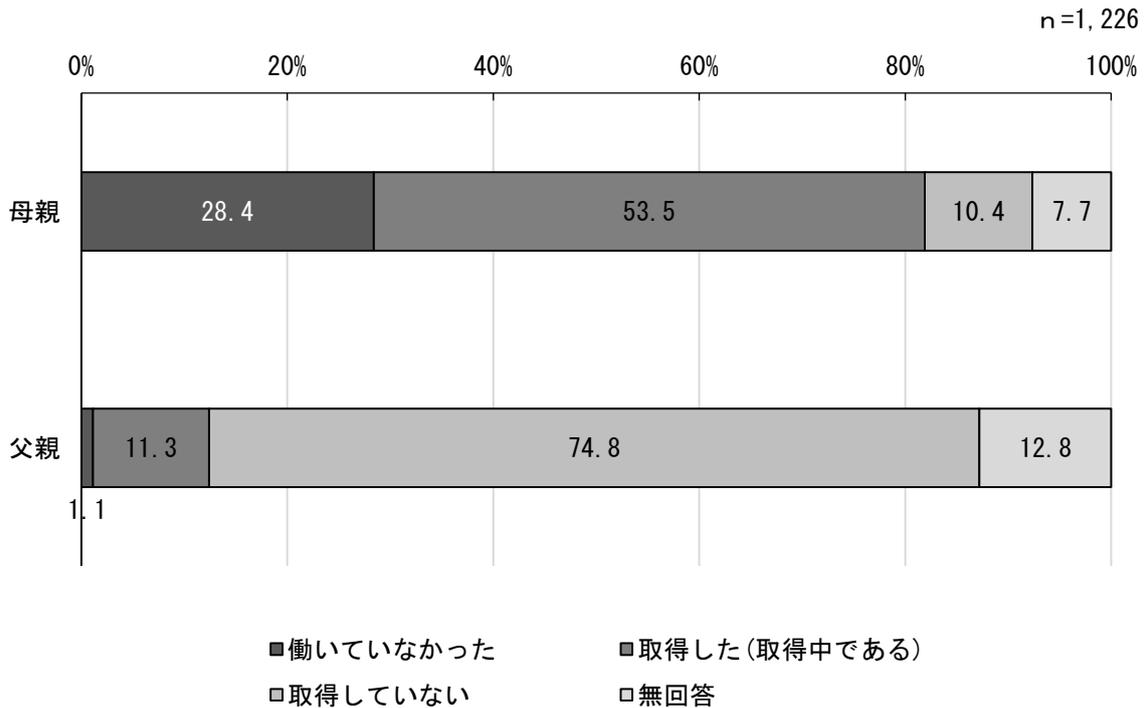
不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が57.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が17.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が15.8%となっています。



## (7) 育児休業の取得について

### ○育児休暇の取得有無

父母のいずれかもしくは双方の育児休業取得の有無は、「働いていなかった」としては、「母親」が28.4%、「父親」が1.1%となっています。  
 「取得した(取得中である)」としては、「母親」が53.5%、「父親」が11.3%となっています。  
 「取得していない」としては、「母親」が10.4%、「父親」が74.8%となっています。

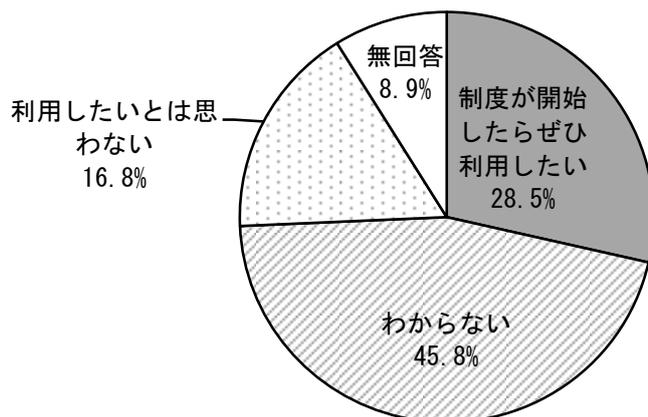


## (8)「こども誰でも通園制度」について

### ○こども誰でも通園制度について

こども誰でも通園制度の利用希望は、「わからない」が45.8%と最も高く、次いで「制度が開始したらぜひ利用したい」が28.5%、「利用したいとは思わない」が16.8%となっています。

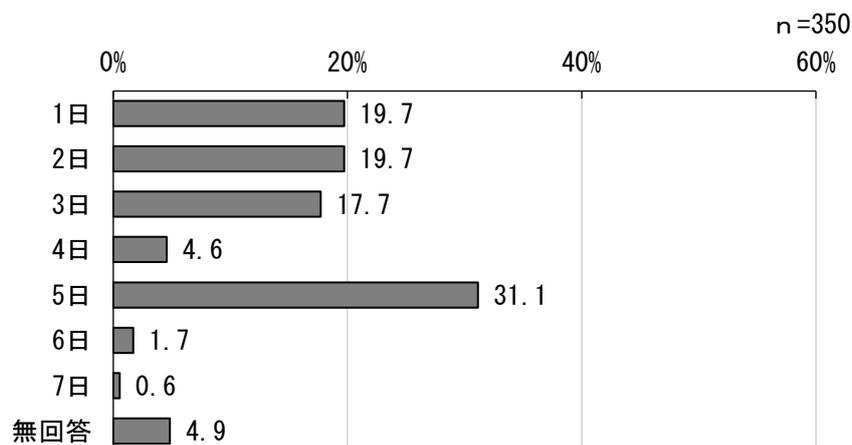
n=1,226



## ○こども誰でも通園制度の利用希望

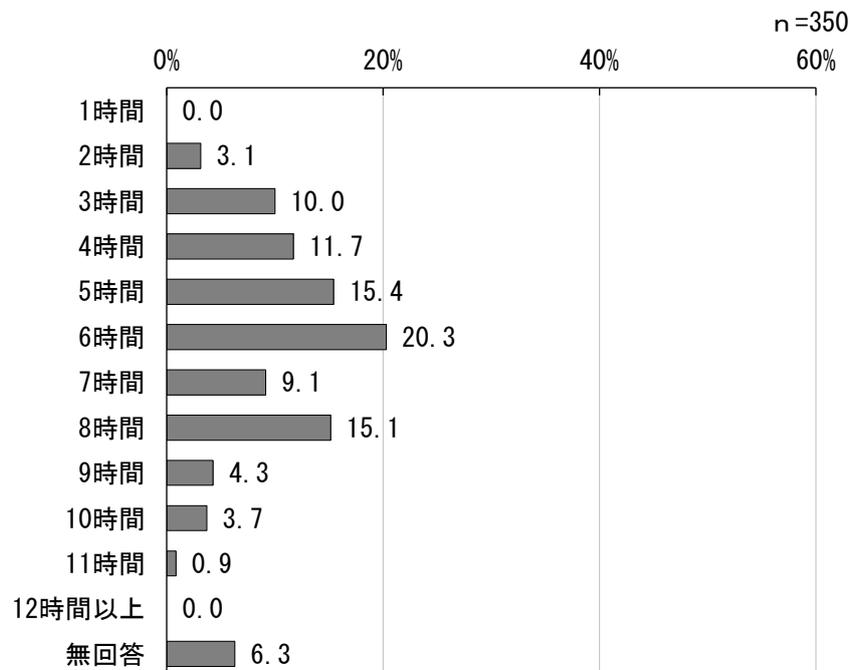
### 【利用したい日数】

こども誰でも通園制度を利用したい1週間当たりの日数は、「5日」が31.1%と最も高く、次いで「1日」、「2日」がそれぞれ19.7%となっています。



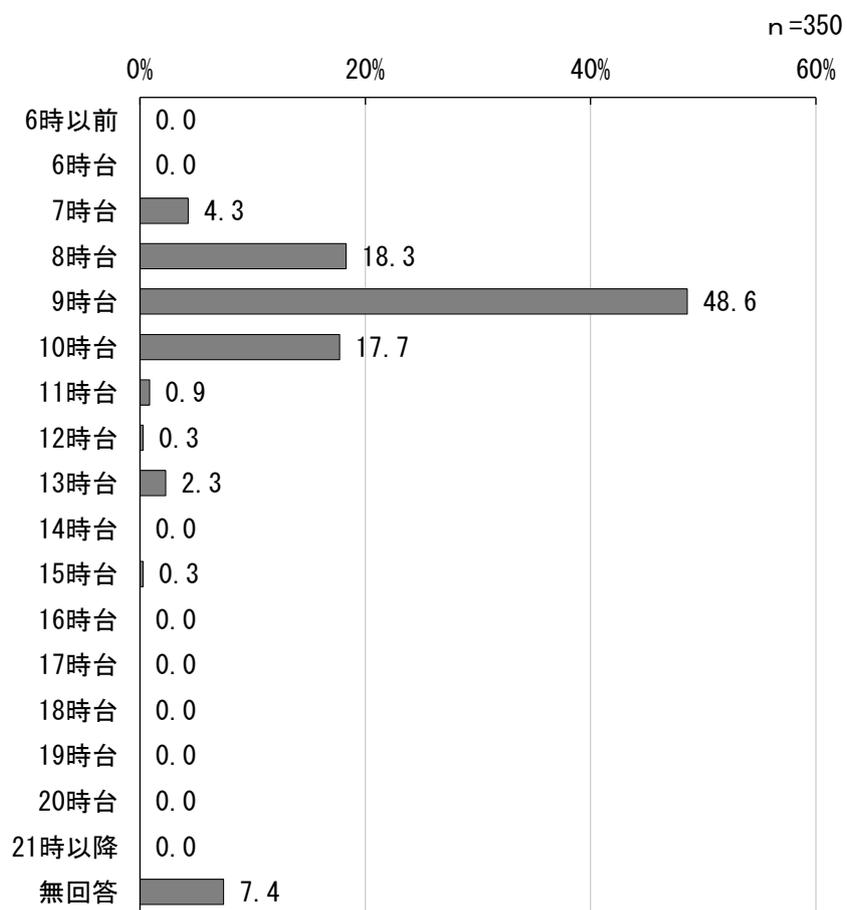
### 【1回あたりの時間】

こども誰でも通園制度を利用したい1回あたりの時間は、「6時間」が20.3%と最も高く、次いで「5時間」が15.4%、「8時間」が15.1%となっています。



### 【開始時間】

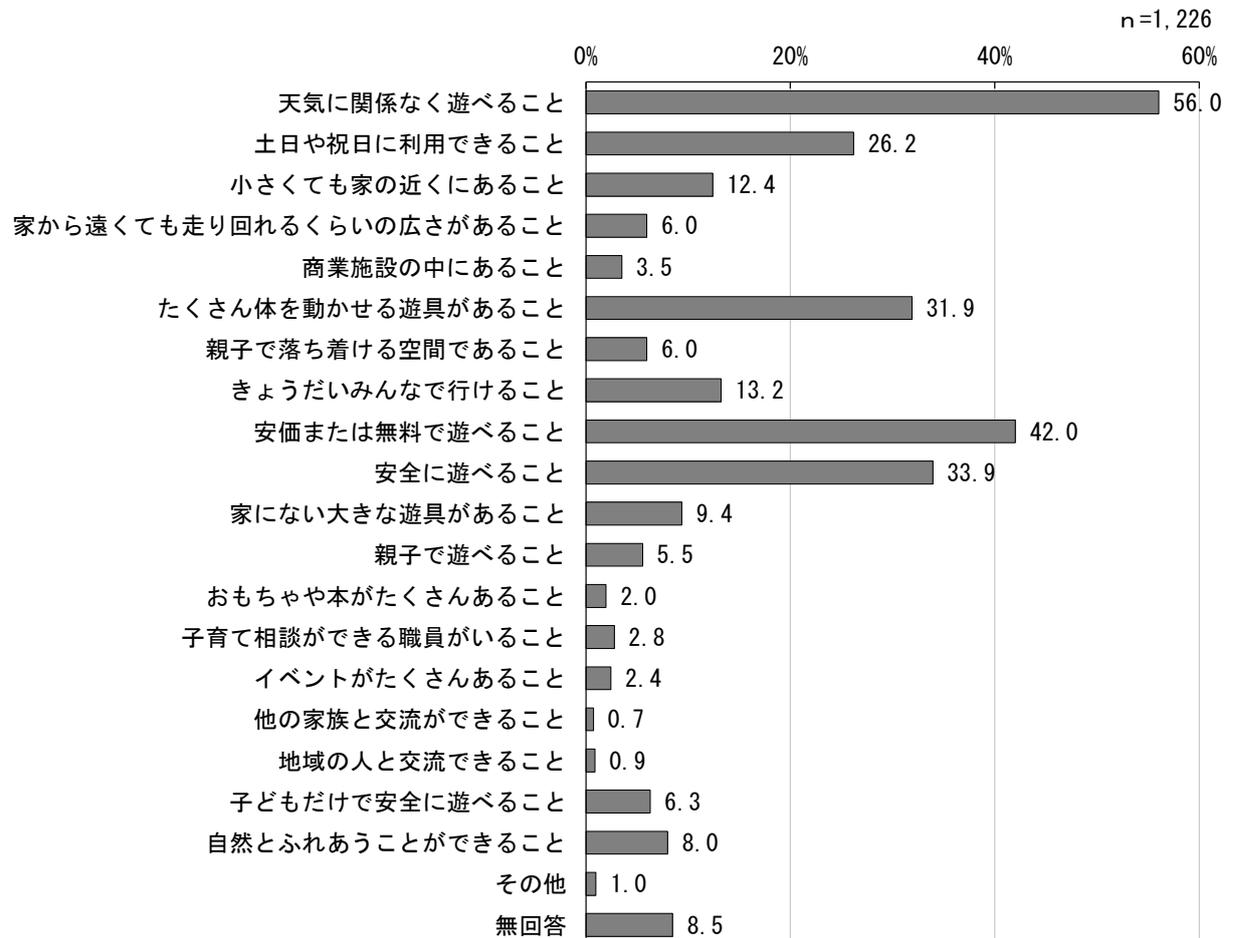
子ども誰でも通園制度を利用したい開始時間は、「9時台」が48.6%と最も高く、次いで「8時台」が18.3%、「10時台」が17.7%となっています。



## (9) 那須塩原市の子育て環境や支援について

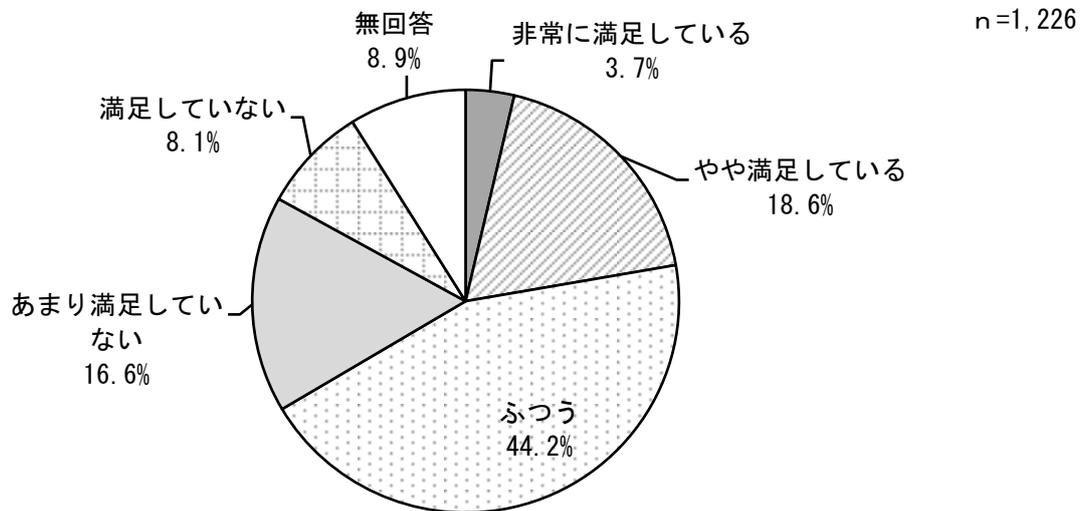
### ○子どもの遊び場について

子どもの遊び場について重要だと思うことは、「天気に関係なく遊べること」が56.0%と最も高く、次いで「安価または無料で遊べること」が42.0%、「安全に遊べること」が33.9%となっています。



○子育て環境や支援への満足度

子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が44.2%と最も高く、次いで「やや満足している」が18.6%、「あまり満足していない」が16.6%となっています。

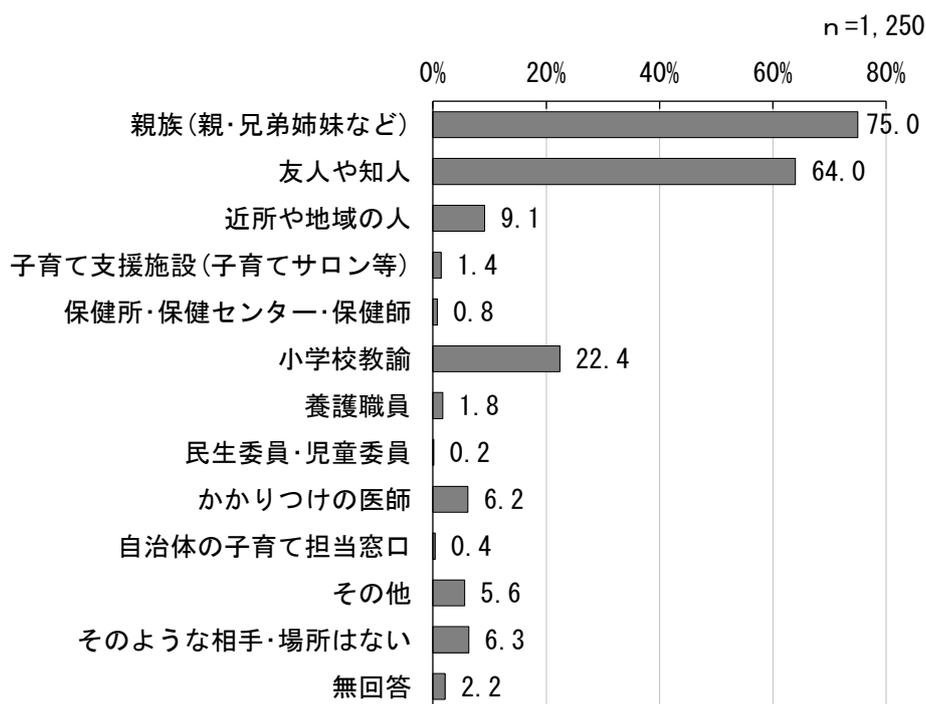


### 3 調査の結果概要（小学生）

#### （1）子どもの育ちを巡る環境について

○子育てについて気軽に相談できる相手

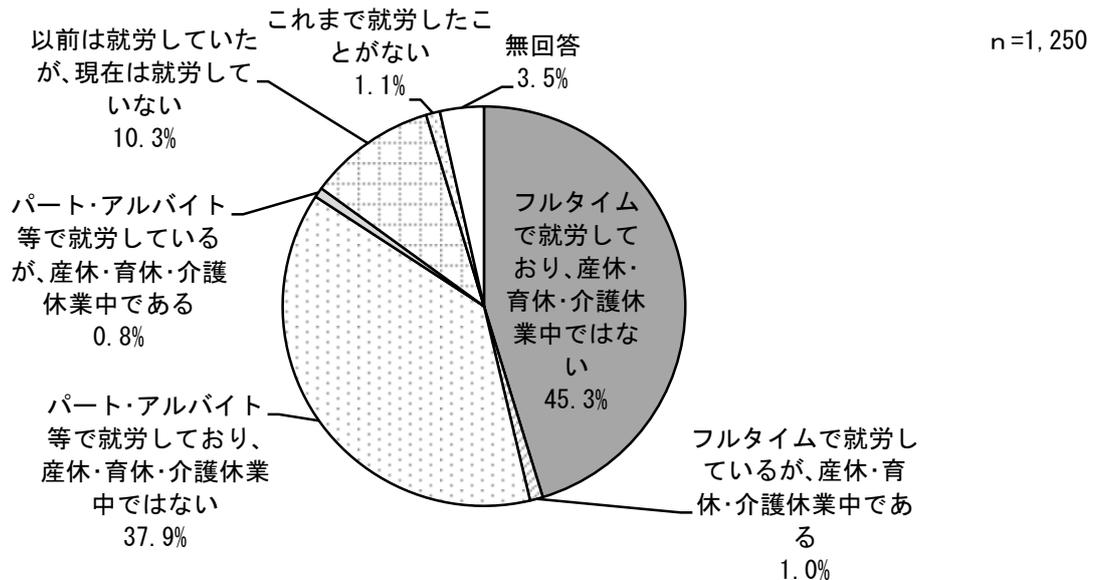
子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手は、「親族（親・兄弟姉妹など）」が75.0%と最も高く、次いで「友人や知人」が64.0%、「小学校教諭」が22.4%となっています。



## (2) 保護者の就労状況について

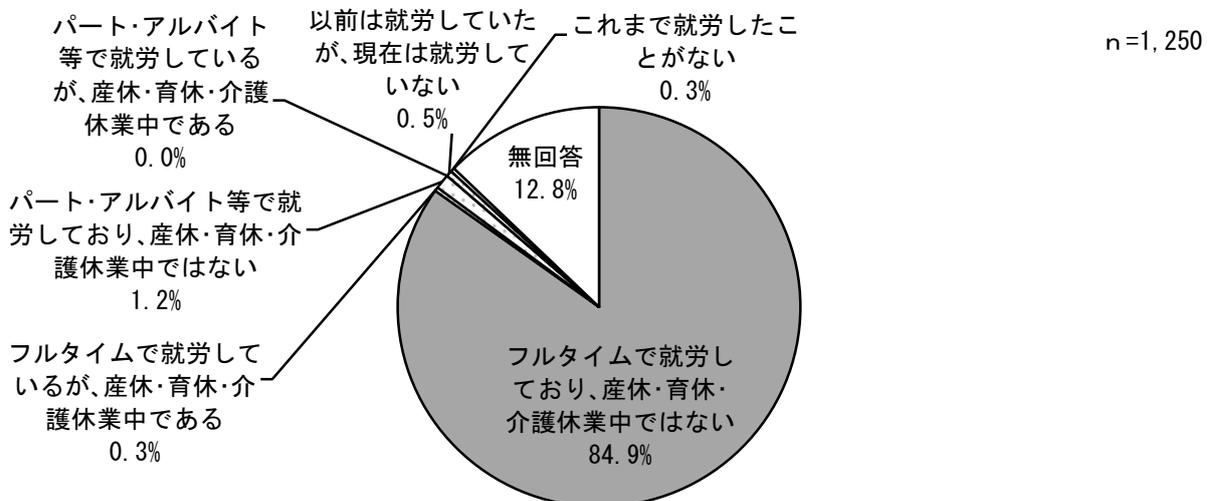
### ○母親の就労形態

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が10.3%となっています。



### ○父親の就労形態

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が84.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が1.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%となっています。

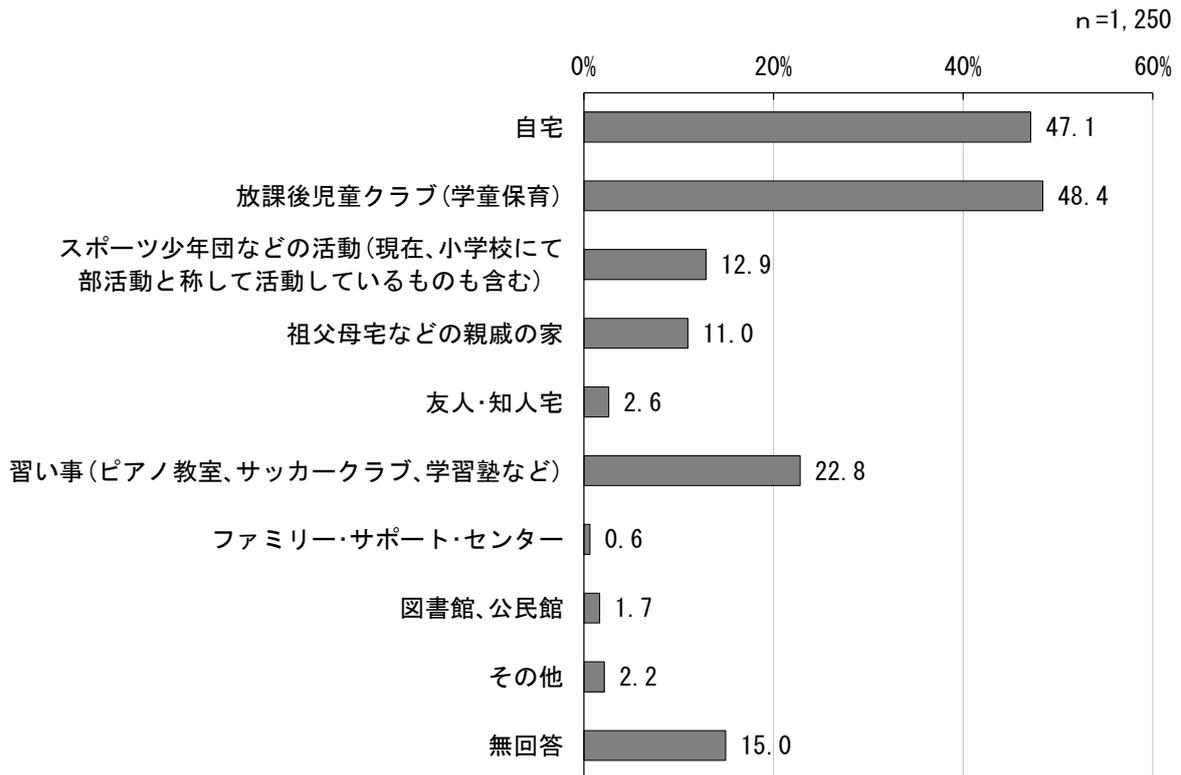


### (3) 放課後の過ごし方について

#### ○放課後の過ごし方

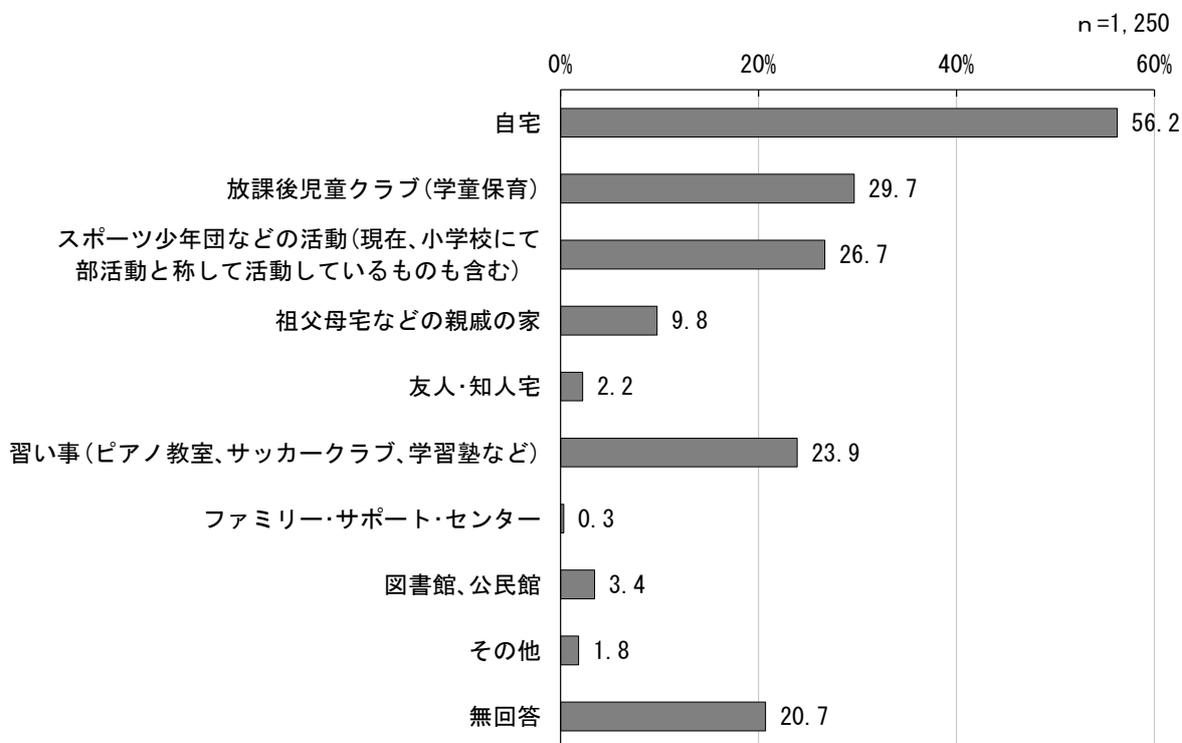
【1～3年生】

放課後（平日の小学校終了後）過ごさせたい場所は、「1～3年生」としては、「放課後児童クラブ（学童保育）」が48.4%と最も高く、次いで「自宅」が47.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.8%となっています。



【4～6年生】

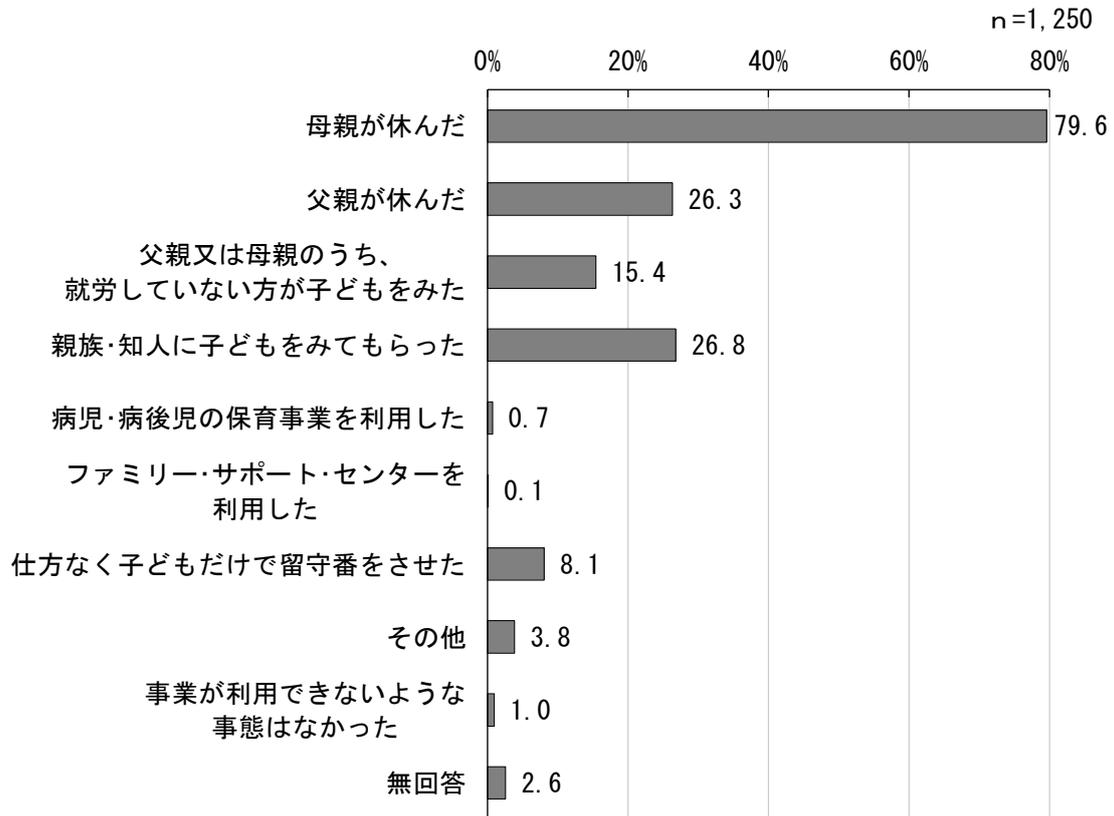
「4～6年生」としては、「自宅」が56.2%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が29.7%、「スポーツ少年団などの活動（現在、小学校にて部活動と称して活動しているものも含む）」が26.7%となっています。



#### (4) 病気やけがの際の対応について

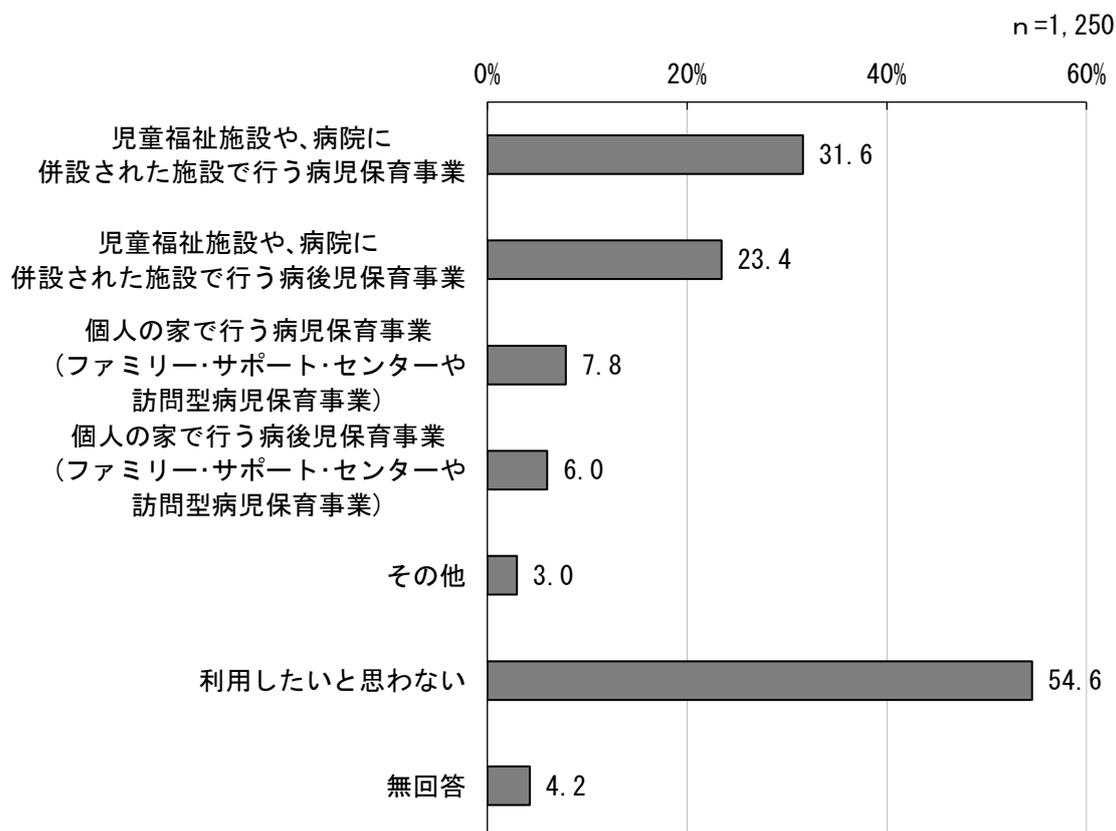
##### ○病気やけがの際の対応

お子さんが病気やけがの際の対処方法は、「母親が休んだ」が79.6%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が26.8%、「父親が休んだ」が26.3%となっています。



## ○病気やけがの際に利用したい事業

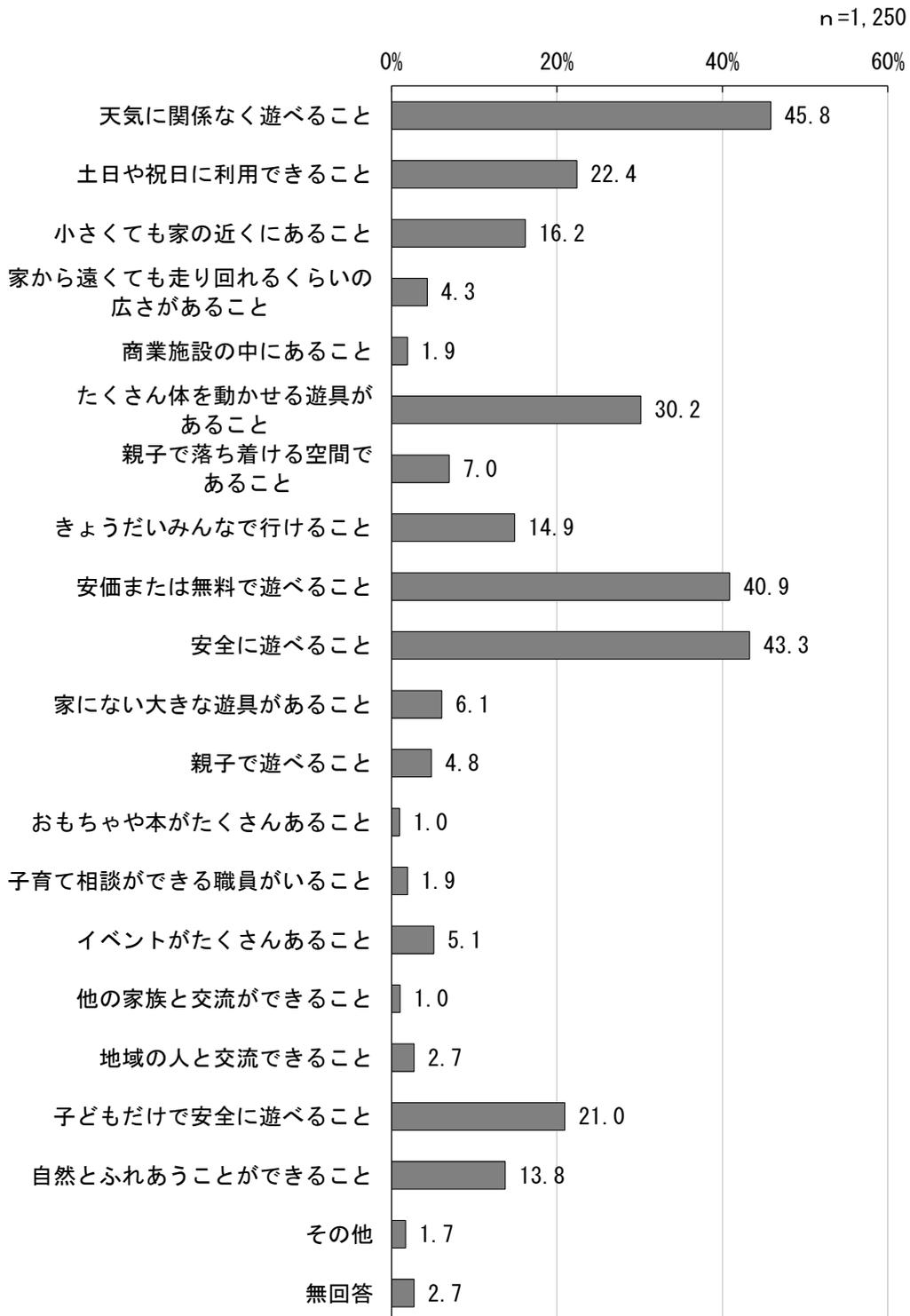
お子さんが病気の際に父母が仕事を休んで看られない場合の利用したい事業は、「利用したいと思わない」が54.6%と最も高く、次いで「児童福祉施設や、病院に併設された施設で行う病児保育事業」が31.6%、「児童福祉施設や、病院に併設された施設で行う病後児保育事業」が23.4%となっています。



## (5) 那須塩原市の子育て環境や支援について

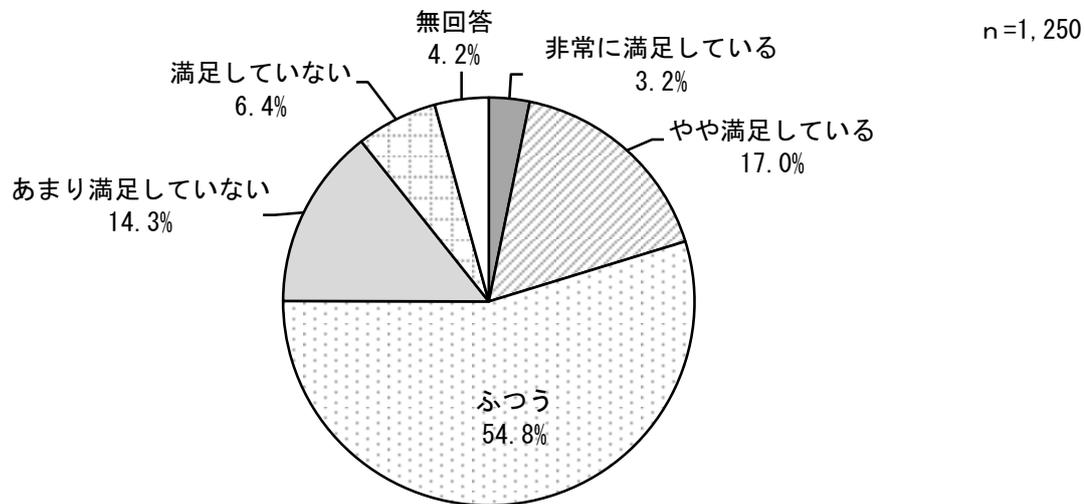
### ○子どもの遊び場について

子どもの遊び場について重要だと思うことは、「天気に関係なく遊べること」が45.8%と最も高く、次いで「安全に遊べること」が43.3%、「安価または無料で遊べること」が40.9%となっています。



○子育て環境や支援への満足度

子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が54.8%と最も高く、次いで「やや満足している」が17.0%、「あまり満足していない」が14.3%となっています。



## 4 アンケート結果からみえる現状分析

### ●「定期的な」教育・保育事業への取組

「定期的な」教育・保育事業について、「保育園」を利用していると答えた就学前児童保護者は45.4%、「認定こども園」を利用していると答えた方は42.7%でした。

「認定こども園」については47.8%、「保育園」については42.3%の方が平日の利用を希望していますが、「幼稚園」も23%、「幼稚園または認定こども園の預かり保育（定期利用）」は17.4%、「事業所内保育施設」と「ファミリー・サポート・センター」もそれぞれ6.2%の方が利用を希望しています。「保育園」、「認定こども園」はもちろんのこと、「幼稚園」や「幼稚園または認定こども園の預かり保育」、「事業所内保育施設」や「ファミリー・サポート・センター」における保育事業も充実させ、幅広いニーズに応える必要があります。

### ●「不定期な」教育・保育事業への取組

不定期に利用している一時預かり事業について、約8割の就学前児童保護者が「利用していない」と答えています。その一方で少ないながらも「幼稚園または認定こども園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」については5%程度、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が3.5%と一定数の方が利用していると答えています。利用を希望しない理由としては「特に利用する必要がない」は57.1%となっていますが、「利用料がかかる・高い」、「利用料がわからない」、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」と答えた方が少なからず存在するため、周知する必要があります。

一時的に保護者が子ども（特に就学前児童）をみていることができず、子どもを預けられる祖父母や親戚等も近くいない家庭や、保護者や祖父母、親戚の人がいたとしても突発的な事情で子どもをみていることができなくなった家庭など、様々な家庭の事情に対応できる環境を整え、支援を行う取組を進めていくことが求められます。

### ●病児とその家族を支える取組

父母が仕事を休んで看られない場合に利用したい事業について、「通園している保育園や認定こども園での体調不良児対応型保育事業」と答えた就学前児童保護者は62.8%、「幼稚園、保育園、認定こども園や、病院に併設された施設で行う病児保育事業」と答えた方は37.8%でした。一方で、22.1%の方が「利用したいと思わない」と答えています。

小学生保護者では、子どもが病気やけがの際行った対処方法について「母親が休んだ」と答えた方が最も多く、病児・病後児のための保育施設等について「利用したいと思わない」と答えた方が多くなっていますが、一方で、31.6%の方が「児童福祉施設や、病院に併設された施設で行う病児保育事業」、23.4%の方が「児童福祉施設や、病院に併設された施設で行う病後児保育事業」を利用したいと回答しています。

子どもが病気等になった際に安心して子どもを預けられる体制づくりや支援を今後も進めていくことが必要と考えられます。

## ●放課後の過ごし方に対する取組

放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについて、小学生保護者では、1～3年生時においては「放課後児童クラブ（学童保育）」、「自宅」、4～6年生時においても「自宅」、「放課後児童クラブ（学童保育）」が高くなっています。したがって、「自宅」以外の放課後の居場所として「放課後児童クラブ（学童保育）」のより一層の充実が求められます。

## ●子育てと子育て環境に対する支援

那須塩原市の子育て環境や支援への満足度は、就学前児童保護者では「ふつう」が44.2%、「やや満足している」が18.6%となっています。一方で、「満足していない」と「あまり満足していない」は合わせて24.7%となっています。小学生の子どもがいる保護者では「ふつう」が54.8%、次いで「やや満足してる」が17%となっており、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた割合は就学前児童保護者に比べて4%低くなっています。

また、就学前児童保護者に聞いた地域の子育て支援事業の利用状況は「市外の子どもの遊び場（トコトコ（大田原市）、わんぱくキッズランド（那須町）等）」が40.9%、次いで「子育てコミュニティ広場（イオンタウン那須塩原内）」が17.8%の方が「月1～4日」利用していると回答しています。一方で8割以上の方が「利用していない」事業として、「つどいの広場（ほっぺ、ま〜る）」、「なかよし広場（いきいきふれあいセンター内）」、「市内の保育施設が実施する子育てサロン」、「市内の公民館が実施する子育てサロン」と答えています。今後は原因を調べるとともにサービスの周知を行う必要があります。

小学生保護者の子どもや子育てに関する相談先は、「親族（親・兄弟姉妹など）」が75%、「友人や知人」が64%と高くなっているのに対し、「子育て支援施設（子育てサロン等）」や「自治体の子育て担当窓口」などは非常に低くなっています。

子どもやその保護者が適切な保育・教育事業のサービスを受けられるよう、地域の子育て支援事業に関する情報の効果的な発信、子どもや子育てに関する相談窓口の周知にも取り組むことが求められます。

就学前児童および小学生の遊び場について、保護者が最も重要視する点は「天気に関係なく遊べること（就学前児童56%、小学生45.8%）」で、次いで「安価または無料で遊べること（就学前児童42%、小学生40.9%）」、「安全に遊べること（就学前児童33.9%、小学生43.3%）」があげられます。したがって、全天候型の遊び場の増設、地域企業との連携で安価または無料の遊び場を拡充するなど、安全かつ快適に遊べる環境を整え、保護者のニーズに応える事が求められています。